大正九年十二月二十四日 第三種郵便物認可

新京日日新聞

夕刊

十二月十日（日）

定價 一部金三錢 一個月金八十錢
郵税 一個月金十五錢
新京永樂町四丁目一番地
發行所 新京日日新聞社
發行人 十河榮忠男
編輯人 松本
印刷人 谷啓二郎

昭和八年の回顧（十）

曠野には忽ち大建築物が建並ぶ

國都建設第一年の全貌（A）

新京驛に到着する各列車は何時も滿員で人口は殖へる一方で、寛城子を合せて、十五萬の人口が、今では實在二十三萬と謂はれ、工事材料は、土砂、洋灰だけでも每月五十瓩から一萬瓩搬入されて、到る處に材料が山積みされ、從つて材料運搬の荷馬車の往來激しく活氣横溢、正に世界一の好況都市を現出し、附屬地の如きは、空地がなくなつたため家屋の拂底を來し、一間六疊の家賃三十圓が普通となり住宅難に惱まされ、遂に新京は、新發屯から孟家屯に至る所謂新國都建設計劃地に向つて伸張しはじめ、人口五十萬を目標に計劃された同地區内には、大同廣場を中心にして大同自治會館、司法部、國都建設局、滿洲國官吏集合住宅を初め、外交部、關東軍司令部、滿洲國官吏個人住宅、中銀社宅、南新京驛が殆ど完成に近く堂々その偉容を競ふしてゐるが、國務院、首都警察廳、大同學院の建築物も既に着工されてゐる、この大國都建設計劃が今年中にどれだけ進捗したか？、あの曠野が如何にして征服されつゝあるか？

一、土地拂下げ

新京は政治都市であると共に各地との鐵道、道路の連絡で經濟的中心都市ともなるので將來世界有數の大都會となることは灯を見るよりも明らかで、國都建設局では既在市街を合して、六千萬坪の大城に二十年後五十萬の人口を收容し得る計畫を樹て、先づ六百萬坪を第一期五ケ年計畫地として着手し、道路、水道の工事を終へて先づ今年三回に分けて土地の拂下げを行つた。即ち第一回は

商業地區一〇二、一八四平方米
住宅地區五〇、〇一七、八三平方米

を六月二十一日拂下げたところ

商店街　一二八筆九三口
住宅街　六〇筆六〇口

に對し申込者は

商店街　一、七〇四名
住宅街　一、一九二名
計　二、八九六名

となり抽籤の上、百五十名に拂下げ、續いて、第二回

商店街一六、一二六平方米
住宅街七四、六七四、六七同

第三回

商店街七四、七三〇
住宅街四一五、〇九五、五

一般價格指名賣却土地四〇〇、七一二平方米二六一を拂下げ、總計百十三萬三千五百四十三平方米六五一の土地が拂下げられた、その結果主なるものは日本毛織新京支店、正隆銀行支店、東拓支店、中央銀行、三菱貸事務所、鴻業公司、東亞勸業、鮮銀、三中井百貨店、協和會、職業補導部、等の大建築の外修養團、天理教會、日蓮宗寺院、東本願寺等の修養團体等千余戸が現在完成し又目下着工され或は明春解氷期から着工されることとなつてゐる、又興安大路、豐樂路、安爾路、堂智路、興亞街、順天廣場附近は電燈瓦斯の工事も殆ど完成し、大同大街から興安路に至る鍵形の道路には五〇〇ワット二燈の照明燈が既に工事を半ば完成し、今月末から、明煌々として照明することになつてゐるので、明年二月の、解氷期を控へた第一回の拂下げに際しては、拂下げ希望者が殺到したちまちの中に、順天廣場大同廣場を中心とする地區は大都會と化さんとしてゐる、然も値段は商店街三、三平方米（一坪）が銀二十圓、住宅地八圓で、一筆が商店街三百六十平方米（百十坪）、七百七十平方米（二百三十三坪）、八百七十平方米（二百六十五坪）、と別れてゐたが、幾筆合しても拂下げを受けられるので、如何なる大商店會社の進出も出來るわけで今年拂下げたものは二十年の期限後には完全に完成することになつてゐる

二、道路と水道

道路は交通事故を防ぎ土地の利用價値を減ぜぬことが第一で、凡て二線直角交叉とし、幹線は巾六十米より五十四米、其他二十六米で、幹線路は高速度車道と緩速度車道及人道に分け、並木を四列に植えるがこの並木は明年春から植付けられることとなつてゐるが道路は凡て鋪裝し、今年十一月までに完成した道路は道型工事百三千粁、碎石道路四粁、コールタール鋪裝道路十二粁、アスファルト道路五粁、小鋪石コンクリート鋪裝道路五百米で、興安大路以北の主要なる街路は凡て鋪裝を終つて車馬の交通に何等支障なきまでに大半完成してゐる、又滿洲で問題となつてゐる荷馬車道路は、切石張りは高價なため、切石張りの特徴を採用して小石塊をモザイク形に[illegible]くこととなり、目下材料を整へつつあるがこれは明年春[illegible]工することとなつてゐる（[illegible]

我航空機工業躍進

（東京八日發國通）航空機製作工業は最近異常の躍進をみせ、明年度は九億突破の未曾有の軍事豫算を背景に一層の活躍が豫想される、明年度豫算の航空機製作費は本年度より三割增の六千五百乃至七千萬圓に達し、民間各社への注文は重爆擊機、戰鬪機、偵察機を合せて八百臺で、中島飛行機製作所、三菱航空機會社、愛知時計電氣會社、川西航空機會社、渡邊鐵工所、川崎造船所、石川島飛行機製作所の各社の外、東京瓦斯電氣工業の發動機製作所、日本樂器製造株式會社のプロペラー製造と住友系の進出が傳へられる航空機製造能力は一昨年度は年三百臺だつたが昨今は千臺に上つてゐる

朝鮮人金融組合 最近の狀況

朝鮮人金融組合は、在滿朝鮮人の金融機關として、今年より副業獎勵中の居留民會と協力邦人發展に努めてゐる組合十月中の會員は千[illegible]八名、出資口數千六百[illegible]、同月の資金は東亞勸業から一萬八百圓で延滯保證現在高二十七口、一萬七[illegible]十二圓五錢、假受金十[illegible]千八十二圓七十七錢、現在十四口、千四百二[illegible]二錢で米價落勢のため[illegible]給不圓滑のため出廻遲[illegible]減少し十三圓五十錢か[illegible]圓九十錢に騰貴したが[illegible]恒久性なく中間から[illegible]廻り先月と同樣な相場[illegible]たので回收は四十圓に[illegible]が出廻旺盛となると共[illegible]の賣急ぎ防止のため擔[illegible]に千百八十圓を融資し[illegible]効果をあげてゐる、又[illegible]の貯金は同月の預金四[illegible]五十二圓十五錢、拂出[illegible]百七十四圓五十錢で現[illegible]千九十二圓三十六錢と[illegible]前月末の三千八百余圓[illegible]して約五割の增加となつてゐる

貯炭不足を來し 北鐵の運行繼續を危まる

（ハルビン九日發國通）滿ソ双方の首腦部の間に引續き論爭を續けて居る北鐵は今や再轉して重大な受難に逢着せんとして居る、即ち列車運行上の動脈たる北鐵の貯炭は僅か茲一ケ月を支へ得るに過ぎず石炭補給不可能なる場合の第二次策として薪も僅か三ケ月を支へ得る程度に過ぎないのでこの儘放任するに於ては北鐵は燃料缺乏の結果或は運行停止の已むなきに至るやも圖り難いとの極端な悲觀論さへ提唱されるに至つて居る、即ち北鐵督辦李紹庚氏は右燃料缺乏の警鐘を鳴らしてソ聯側の任意を促して居るがソ聯側首腦部は石炭の原地補給に對して仲々同意せざる有樣でソ聯の底意が那邊にあるか全く察知し難き狀態にあるがこうしたソ聯側の奇怪な態度に有識者は何れも驚きの目を見張つて居るが我方に於ても李督辦以下關係者は引續き對策を考慮中である

三菱商事 四支店新設

（東京九日發國通）三菱商事會社では現下の爲替安に乘じ世界商權獲得のため曩に同常務加藤恭平氏をして各[illegible]を巡視し、兼ねて新支店設立地の選定に當らしめてゐたが同氏の歸朝によりペルシャのテヘラン、モロッコのカサブランカ、エヂプトのアレキサンドリヤ、印度ボンベイの四個所に新支店を設置することに決定した、尚ケープタウン、ヴエノスアイレス等も内定してゐる

日滿悲曲

生命線を行く（三十八）

國友雄吉　（禁上演上映）　（荒川芳三郎畫）

彼の立ち場

伸一が、立聽きをしてゐるとは知らないで、書齋の中では、親子の話が、猶續いて行く。

久彌は、母の言葉を聞くと決心の色を面に現はして、

「さうですか。お母さんの力で、どうにもならないといふなら、仕方が無いから、僕が決心をしませう。僕さへ決心をすれば、それで宜いんだ」

「決心をするといつて、全體どうしようとお言ひなの？」

夫人はさすがに、心配でならなかつた。

「暫らくの間、僕を外へ出してはくれませんか」

「外へ出すといつて、どうするの？」

「外國へでも行つてみようかと思ひます」

「まあ、外國へ——そんなことをいつて、第一、學校の方を、どうするつもりなの？」

「學校なんか、どうなつたつて構ひません」

「そんな亂暴なことを言つてはいけません。誰が何といつても、あたしが不承知です——おまへ、伸一に、なにか言はれたんでせう。人に煽てられて、そんな無謀な考へを起してはいけません」

夫人は屹となつた。

伸一は扉の外で、思ひもよらぬ母の邪推に驚いた。そして、さうした母の氣持を、情なく思はずに居られなかつた。

久彌も亦、情なさそうに深い溜息をした。

「お母さんは、すぐに伸一兄さんを疑ぐるんだ。どうしてそんなだらう？　伸一兄さんは何も知らないんだ。僕を煽てるなんて、そんな人ではありません」

久彌の眼には、母を憾む淚が滲んでゐた。

夫人は、彼のその眞劍さに打たれて伸一のことは、それ以上、何も言へなくなつた。

「ねえお母さん、僕改めて言ひますよ。たとへ、どんな理由があつても、僕は伸一兄さんに代つてこの家を相續するやうなことはしませんよ。若し、どうしても僕に相續せよと言ふなら、その時は仕方が無いから、無斷で家を出てしまひます。どうか、そのつもりで居てください」

「何を言ふのです久彌！　無斷で家出だなんて、あたしは、そんな言葉を聞くだけでもゾッとします。おまへまでが、あの伸一と同じやうに、正家の家が、どうなつても構はないと言ふの？　あたしのことなんか、何とも思つてはくれないの？」

夫人は、だん〳〵言葉が顫へて來て、しまひには、たう〳〵泣き出してしまつた。

靜かな書齋の中には、只、時計の刻む音と、夫人のすゝり泣きが聞えるばかりだつた。

伸一は、逃げるやうにして、ソッと自分の室に戻つて來た。

邦彦や牧原氏を相手にして闘ひながら、自分を相續人にしようとして、飽まで主張してゐる久彌の熱烈な眞心に對して、彼は淚ぐましい感謝を拂はずに居られなかつた。そして最後に自分が家出をしても目的を達しようとして彼は思ひに迫つた。

伸一としては、一面に於て又、久彌を持てあましてゐる母に對しても同情せずに居られなかつた。母の力と頼むものは只久彌であつた。その久彌が、萬一家出でもするやうなことがあつたら、それこそ母は、魂を奪はれた人のやうになるであらう。

しかも久彌は、只單に、母を脅かさうとして言つて居るので無い、場合に依つては、實際、家出をしてしまふであらう。その眞劍な氣持は、伸一にも能くわかつてゐた。

その場合、若し自分が煽動して、家出させたやうにでも思はれたら——。

「これは、いよ〳〵何とか自分も決心をせねばならない時が來た」

伸一は、思はず心の中で呟いた。

八田副總裁の再來京で現地案最後的決定
來月廿日の株主總會に提出
滿鐵改組協議進捗

軍、滿鐵兩者間に大綱に於て完全に意見一致を見た滿鐵改組案は八日歸連した八田副總裁が新資料を携行して近く再び新京に來り、軍當局と審議の上最後的現地案を決定し、來る廿日の株主總會に間に合はす可く該案を携行東上することになつてゐるが、右案の內容は滿鐵改組の重大性に鑑み軍、滿鐵當事者の申合せにより、本案が中央に移牒されるまで發表を差控へることゝなつた模樣である、尙軍側に於ては八田副總裁の東上に前後し、來滿中の秋永少佐が該案を携行陸軍本省に報告することになつて居り小磯參謀長の東上は目下尙未定とされて居る

官民委員會の意見遂に一致を見ず
＝官民對印協議會＝

〔大阪十日發國通〕日印會商の成否を決するものとして各方面より非常に重大視されてゐた九日の官民協議會は、民間側が政府に善處方を陳情するといふ形式で、表面官民の意見の調制が完成した如くであるが、その裏面では左の如く種々錯雜せる事情が潛在し遂に完全な官民の意見の一致は行はれなかつた模樣である即ち

一、中島商相が無條件政府一任を要請したのは去る十一月廿八日の代表引揚げ敢行の强硬聲明によつて硬化した印度側の態度を印棉不買解除で、緩和せんとしたものでこれが實行を暗々裡に當業者に希望したが民間側はこれを拒絕しこれがため政府民間の間に一種の疎隔的空氣を釀成した

一、政府無條件一任といふ當業者當初の意向が民間協議會席上に於ける津田鐘紡社長の强硬論にリードされ各委員が著しく態度硬化した事情

等右の如くであるが、政府は今後に於ける日印の會商に對しては當業者の意向などにかゝはりなく、國家的見地より協定成立のためドンドン交涉を進めて行くものと觀測される、而して今後會商の進捗に唯一の難點となるのは日印不買の善後處理問題である之れに對する紡績聯合會の態度如何は頗る注目されて居る

表面は意見一致

〔大阪九日發國通〕對印官民協議會は九日正午より綿業會館に「開催」され政府側より中島商相、吉野次官、若松商務書記官、民間側から阿部紡聯委員長、山崎綿糸布會長、野瀨棉花會長、津田鐘紡社長等對印特別委員全部出席し、日印會商の經過に關し質疑應答あり、中島商相より此の際國策的見地から政治的解決を政府に委ねられたき旨を希望したが、之に對し津田鐘紡社長は豫ねて作成した質疑書を提示し政府外交の軟弱を攻擊した、よつて中島商相は交涉を振返つて見れば外交上の手違ひやその他拙ない點は多々あらうが、それは政府當路のみの責任ではない、當業者も其の責の一半を負はねばならぬ然し對內的に官民意見調整が現下の急務とされて居る際かゝる問題にかゝわつて居るべきでない旨を答へ、かくて午後四時過ぎ中島商相始め政府側は別室に退き綿業者團体聯合特別委員會に移り、協議を凝らし無條件政府一任と云ふ所まで行かなかつたが政府に善處方を陳情するといふ程度で意見の一致をみたので、その旨を中島商相に傳達、官民協議會は午後五時十分散會した、かくて政民間にわだかまつて居た確執は一掃されデリー會商に對する官民意見の調整はここに「完成」し、日印會商は今後多少の迂餘屈折はあるが協定成立に達するは確實と觀られる

阿部氏談
紡聯委員長

中島商相は同夜九時二十五分大阪發歸京の途についた

〔大阪十日發國通〕紡績聯合會委員長阿部房次郎氏は語る

政府當局と當業者との協議會にて綿業者側は日印會商の經過と現狀に對して腹藏なき意見を開陳したが、政府の方針を承認したとか政府に一任したとかでは斷じてない、從つて政府と民間の意見には依然として相當の距離がある、併し政府が政治的に解決を爲し遂げた場合、當業者は如何ともする事は能はぬが左樣な結果が來た時、印棉不買を解除するかどうか重大問題である、印棉不買は紡聯總會の決議であるから相當の理由が無ければ之が解除は困難である、要するに五十人は小さい事は殘らず言つて了つたので五十人の要望する目的の貫徹は政府の努力に俟つのみである

對印官民協議會のコンミユニケ

〔大阪九日發國通〕官民協議會は散會後左のコンミユニケを發表した

商工大臣及商工次官は日印會商の經過並に今後の方針につき當局の意のある所を指示せられ、民間當業者よりも夫々希望を申入れ善處方を陳情した

日本商品の進出防遏に
不當相手國に斷乎强硬手段
外務當局聲明を發す

〔東京九日發國通〕最近日本品の世界的進出に對し、各國が猛然としてこれが防止、防遏の氣勢を示し來れるに對し豫ねて政府當局はこれが對抗策を內外各方面から愼重考究中であつたが、愈よ政府は國內的には輸出貿易品の統制をなすと共に、對外的には不當なる相手國に對し斷乎强硬手段をとるべき旨の決定に到達したので、廣田外相は九日各出先大公使に訓電を發し當該計劃國に必要な反省を促すべきを命じたが、右と同時に外務當局は本問題に關し次の如き聲明を發表した

最近世界の各地では日本商品の進出に對し相當敏感となり「關稅」の引上げ割當制度又は通商條約廢棄等諸種の手段を以て日本品に對する輸入阻止の手段を講じて居るのみならず、最近歐洲諸國は本邦品に對し共同して之が防止を圖らんとする形勢あるとさへ傳へられてゐる、近く政府は諸般の大勢に鑑み圓滿なる經濟協力の達成に極力努力して居り、現に輸出統制の强化、互惠協定の締結等により對策實現のため努力して居る次第であつて目下外務省に於ける官民合同の通商審議會でもその方針を以て審議を進めて居り商工省でも當業者を指導說得し着々アフリカ、蘭領印度向けの輸出組合、對米綿織品共同販賣會社、日本電球工業組合聯合會等を「設立」したのである、尙ほ輸出組合法工業組合法、帝組合法規を改正して必要に應じ組合を强制的に組織せしめんとしてゐる、又帝國政府は從來自由貿易主義に立脚し關稅率の如きも出來る限り低率とし無條約國に對しても殆ど何等差別的待遇をなすことなかつたが、今後は本邦品に對し不當なる壓迫を加ふる國に對しては防衞のため必要なる手段をとるの決意を以て關稅制度の改正を考究中であつて來るべき議會に於ては關稅法規改正を提案せんとして居る、この場合無條約國乃至本邦品に對して不當なる壓迫を加へる國の「商品」に對しては差別的高率關稅を附加する事となるべし

軍事豫算をめぐり軍と政黨離反
陸軍から堂々所信を聲明

〔東京九日發國通〕陸海軍豫算に政黨其他に批難あるに對し、陸軍は九日大要左の如き聲明書を發した

最近軍民分離の言をなすもの多く、例へば一九三六年の危機を以て軍部の宣傳とし、過去の戰爭で戰死せるは庶民階級で、高級指揮官に戰死者は無いと云ひ、軍事豫算は農村對策を犧牲にせりといふが、斯る人心の結束破壞は軍部として默視し得ない、平和的に一國の國防を減殺するため國際策動に用ひられるのは第三インターナショナルの反戰運動と、上述の軍民分離策動で、前者は周知の事實であるが、後者は案外一般に知られてゐない

今回の軍事豫算は現時の國際情勢に鑑み國家[illegible]安全のため最少限度の要求で農村對策と不離の關係であり、軍部も之に重大關心を持つてゐる、然るにこの問題を利用し農村の反感を誘發するは遺憾の極みで、海軍もこの點に於て同意見を有して居る

民政黨から陸海軍の聲明に反駁

〔東京九日發國通〕民政黨では陸海軍の聲明に對し左の如く反駁した

軍部の云ふ如き分離運動ありとは信じられない、國民は言論の自由を保障されることは勿論であるが、國防に影響を與へる妄動は愼む必要はあるが、我黨が斯る運動をした事實はない、若しあれば堂々指摘せよ、陸海兩大臣が政治を談ずるは國務大臣であるから當然であるが、大臣以下の軍人が政治を論ずるのは明白大[illegible]の勅諭に違反してゐるから今後の自重を望む

陸軍定期異動下馬評

〔東京十日發國通〕陸軍では九日午前十時より省內大臣室に荒木陸相、柳川次官、松浦人事局長等參集して、十二月の定期異動に關し詮衡を行ひ午後三時散會したが、近く三長官會議に於て最後の決定をなし、內奏した上廿日過ぎ發令される豫定である、而して今回の異動に於ては參謀本部附松木直亮、朝鮮軍司令官川島義之、東京警備司令官林仙之の三中將は此の十二月には中將の實役年限六年に達し、遲くも明春三月の異動迄には大將候補として進級する順序にあるが、二中將が大將に昇進することは不可能と見られてゐるため松木、林兩中將が勇退する場合は第八師團長西義一中將が東京警備司令官に榮轉し、この外第六師團長坂本政右衛門中將は參謀本部附に轉補する模樣であつて今回の異動に於て、教育總監本部長香椎浩平、支那駐屯軍司令官中村孝太郎兩中將の師團長轉補は確實と見られてゐる、後任として教育總監本部長には陸軍大學校長廣瀨猛中將が、支那駐屯軍司令官には梅津美治郎少將が、陸軍大學校長には參謀本部第四部長西尾壽造中將が推されるのではないかと見られてゐる

福州革命政府の蔣介石討伐軍進擊

〔福州九日發國通〕人民革命政府は蔣介石討伐のため軍を二路に分ち、一路は閩北方面に、他は福寧三都方面に進軍することゝなつた、而して最前線の軍事は第一軍第一師長劉占勇之に當り、劉は既に閩南より福州に來り蔡廷楷と打合せを爲したる後八日延平方面に向つた

東北出身學生に對する中央の態度
漸次冷淡

〔奉天八日發國通〕當地に達した情報によれば、東北出身學生に對する支那中央政府の態度は滿洲事變直後に比し著しく冷淡となり之等學生に對する特權、學費免除等も之を取消さんとする意向に傾きつゝあり、之が爲彼等は極度に動搖を來し、殊に排日運動の急先鋒たる東北大學生の如きは中央政府の對日滿政策の變動により、その去就に迷ひ對日滿强硬運動は漸次軟化するに至つた、而して之等學生の中には日本に留學等を希望するものあり又日本語の修得熱が非常に高まり、日本人と接觸する機會を得んとしつゝあると

外務省辭令

〔東京十日發國通〕

外務省書記官　佐藤庄四郎
命新京大使館勤務

外務省書記官　坂本瑞男
命條約局第三課長

外務省書記官　久保田貫一郎
命ベルギー大使館勤務

滿鐵辭令

四平街驛貨物助役　佐藤清永
事務員
新京驛貨物助役を命す

地方部工事課新京在勤技術助手　河杉一清
雇員
新京地方事務所技術助手を命す

四平街在勤電線方　山出文雄
甲傭
新京保安區雜務方を命す

新京保安區技術方　島根芳雄
甲傭
四平街在勤を命す

十二月上旬の輸出入總額

〔東京九日發國通〕十二月上旬の對外貿易の概算（單位千圓）

輸出	四六、〇九一
輸入	五〇、一〇八
入超	四、〇五六
一月以降入超	四七、二八四

佛外相
伊首相聯盟改組計畫に反對

〔パリ八日發國通〕佛政府は

一、ボンクール外相がムツソリーニ首相の聯盟改組計畫に對し意見相違あるを漏らし大國會議の獨裁に反對なる旨公言した

一、ボンクール氏が諸協商國と聯繫を密にするため近くプラーグ、ワルソーに行く事實と照合しフランスが諸協商國と結び積極的外交政策を樹立せんとするものと觀られて居る

獨逸再軍備要求
佛政府は受諾せず

〔パリ八日發國通〕フランス政府は八日ベルリン駐劄佛大使ポンセー氏に對しヒツトラー氏が十一月二十三日ポ氏との軍縮問題の協議の際表明せる獨逸再軍備要求は之を受諾し得ずとの訓電を發した

東亞産業協會
昨日發會式擧行

關東軍、滿洲國政府、滿鐵其他の日滿有志の間に計畫設立された滿洲國社團法人東亞産業協會の發會式は九日午後五時半大和ホテルに於て日本側より小磯參謀長、河本滿鐵理事、滿洲國側より鄭國務總理、宇佐美顧問其他日滿官民百余名出席盛大に擧行された、先づ宇佐美會長より發會の辭あり、次いで軍司令官代理として小磯參謀長祝辭を代讀終つて鄭國務總理起つて熱誠あふるゝ祝辭を述べ、河本滿鐵理事、林總裁の祝辭代讀、金新京市長の祝辭あり、同六時發會式を終へたが引續き食堂に於て大披露宴が張られた、宴たけなはとなるや宇佐美會長起つて謝辭を述べ、一同杯を擧げて乾杯し歡談裡に七時五十分散會した、尙は宇佐美會長の發會の辭左の如し

我が東亞産業協會は本年七月關東軍、滿洲國政府、滿鐵其他の日滿有志相諮り設立せられた滿洲國社團法人でありまして八月一日發會式を擧げる「豫定」でありましたところ、武藤元帥閣下の遠かの薨去に遭ひ延引今日に及んだのでありますが、本協會設立の趣旨に關しては常時既に天下に聲明したところであります。然るに其後東亞政局並に世界の經濟狀勢は益々東亞産業協會の使命と活動を意義附けるものとなつて參りました、即ち國際聯盟は日本の脫退によつてその存在價値を疑はれ始めました處、最近ドイツの脫退によつて全く有名無實と化し又國際經濟協調主義持續のため最後の望みをかけられて居たロンドン經濟會議も事實上決裂に終り全世界は必然的に數個の經濟ブロツクに分立對抗せんとし、國際間の不安は愈よ深刻化しつゝあります、この大勢に對應して所謂アジア人のアジアを建設し、永年の間白人種の「鐵鎖」に縛られてゐた我がアジアの民族的獨立を圖り、これに經濟的の防壘を築き、以て永遠の安定と繁榮を確保することは蓋し吾人の聖務なりと痛感するのであります、世上往々にしてアジアの大同團結を叫ぶものがありますが、その多くは概念的に流れ、單に机上の空想に終つてしまふ虞れがありますがかゝる大事業は實に切實なる現實問題でありまして決して一片の理論によつて達成せらるゝものではなく、あくまで經濟的の基礎に立脚すべきであり、それに依つて始めて確乎不拔の民族的連繫を生ずるのであります、玆に於て我が東亞産業協會は極力日滿經濟ブロツクの確立强化を助けると「共に」視野を廣く東亞全局に及し、支那と融和提携し更に進んでアジア諸邦を打つて一丸とする經濟融合体を造らんとするものでありまして、その業たるや容易なる事でなくその効果又一朝一夕にして期待し得るものでありませんが今日滿洲國の嚴たる存在と堅實なる産業發展は必ずや近き將來東亞の諸邦を覺醒奮起せしむるものあるべく、日滿兩國も又相携へてこの大道を押し進むべきであると信じます

これは同時に日滿兩國の經濟的更生を意味するものであり吾人滿洲に職を奉じゐるものゝ尊き使命なりと考ふる處であります、東亞産業協會は如上の大使命を帶びて産聲を上げ目下北支に對し、蒙古に對して適切なる經濟工作を爲さんとして着々準備の歩を進めて居りますが、先づ日滿の經濟界に寄與する「目的」を以て今夏奉天に於て官民約百名の權威者を網羅して棉花座談會を催し斯業研究に貢獻するところあり、又本年十月滿洲市場紹介展覽會を主催し本會評議員孫實業部工商司長を團長に官民約二十名の代表者を日本に送り北陸地方を始めとして內地重要都市に於て滿洲市場商品の紹介（展示）內地製品の批判その他有益なる貿易上の懇談を遂げ日滿貿易促進に多大の實質的効果を齎す事を得ました、然し乍らこれ等は協會として寧ろ第二次的の事業でありまして今後は愈よ活動區域を擴大して東亞全局を舞臺として遠大なる目的遂行のため愼重なる研究と適切なる對策を以て臨まんとして居ります、尙本協會の內容充實と事業計畫等に關してはこれ又研究準備中であり近く發表し得られる見込であります、上來述べますところを要約致しますに我が東亞産業協會は東亞大局の「安定」全アジアの復興と云ふ大業の經濟方面を擔當して彼我諸民族の間に實際的なる經濟關係を結び付け民族協和即經濟提携を標語として進まんとするものであります、御臨席の閣下並びに諸君に於かせられましても本協會設立の趣旨を諒とせられ充分に本協會を指導鞭撻以て東亞經濟聯盟實現の大使命を達成せしめられん事を希望する次第であります

人事往來

▲中村少將（步兵第〇〇〇團長）九日午前十一時着吉林から
▲柴田特務曹長以下〇〇名（步兵第〇〇隊）九日午後三時二十分着吉林から
▲八島大佐（步兵第〇〇隊）九日午後四時發吉林へ
▲多田少將（陸軍省科學研究所）九日午後四時三十分發內地へ
▲安達大佐（同上）同上
▲羅振玉氏（監察院長）九日午後七時半着大連から
▲鮑澄氏（前駐日大使）同上
▲吉岡中佐（第〇〇團參謀）同上
▲林大佐（工兵第〇〇隊長）同上奉天から
▲飛行第〇〇隊第〇〇隊〇〇〇名十日午前十時五十五分發內地へ凱旋
▲吉澤勝子氏（新京總領事夫人）十一日午前九時新京發內地へ向ふ

急告

新京雜誌記者協會は昭和九年度會員名簿を再製につき雜誌名住所氏名電話番號記入の上左記宛至急申込まれ度し

新京日之出町二丁目八番地
新京雜誌記者協會事務所
代表　加藤金保
電話四八三九番

日滿警察が協力
愈よ年末特別警戒
三段四段の構へで徹底的に
事故防止に邁進

歳末を控へ強盗殺人窃盗等の犯罪が頻々として發生するためこれが徹底的防止を期すべく新京署並に新京總領事館署、滿洲國首都警察廳、同管內各署は協力し犯罪の防止に努めることになつた、各署の警戒方法を見れば左の如くである

新京署

では十一日から三十一日迄を三期に別け非番員を召集し立哨、遊動、別動隊、乘馬警戒、サイドカー自動車隊、金錢取扱者警戒の大班と別け高山署長總指揮の下に大警戒に當る

第一期 は十一日から二十日迄で、非番員二十四名を召集立哨、遊動の二隊に別け午後四時から同十一時迄全市を四區に別け警戒

第二期 は廿一日から二十六日迄とし非番員四十九名で立哨、遊動、別動、乘馬の四隊に別け、晝間各區に二人組一ケ班を置き、午後一時から警戒に當る、なほ同期間は乘馬隊は午前十時から市內金錢取扱業者を巡廻警戒に當る

第三期 は二十七日から三十一日迄で全員を召集し各警戒隊を總出動し全市中を示威警戒することになつてゐる、第一區は中央通以西、第二區は日本橋通以西、中央通迄、第三區日之出町から日本橋通迄とする、立哨は二十ケ所である

新京總領事館

署は新京署と同方法で行ふが同署は特に新發屯の住宅地域並に西五馬路料亭地帶に全力を注ぐことになつてゐる

首都警察廳

並に管內各署では既報の如く去る五日から十五日迄を第一期とし、全員の三分の一を當て警察してゐる、第二期は十六日から同二十五日迄で、全員の三分の二、第三期は二十六日から三十一日迄で全員總出動で警戒に當る人員の配置は要所に三人乃至五人である

新京署の非常召集好成績

朝刊所報首都警察廳では九日午後五時から拳銃殺人未遂事件の犯人逮捕假想演習を行つたが、これと同時に新京署でも同五時から署員を非常召集し城內から逃走してくる不良團を取押へるべく警戒に努めたが成績は良好であつた

北平鎭から各驛への旅客運賃調べ

北平鎭から各驛に到る距離及び旅客運賃は次の通りである

海倫まで（百六キロメータ）一等五圓三十錢、二等三圓二十錢、三等二圓十五錢▲綏化まで（二百七キロメータ九）一等十圓四十錢、二等六圓二十五錢、三等四圓二十錢▲呼蘭まで（三百一キロメータ）一等十五圓五錢、二等九圓五錢、三等六圓五錢▲馬船口まで（三百二十七キロメータ一）一等十六圓四十錢、二等九圓八十五錢、三等六圓六十錢

全滿司法機關實情視察
古田司法部總務司長東上を前に

滿洲國司法制度確立の前提として現行司法制度は一大刷新を加へられるものと期待されてゐるが、之に先立つて古田司法部總務司長は、既にハルビン、吉林の司法機關を視察する處あつたが、更に四、五日中に奉天に赴き現行司法制度の視察を行ふ事となつた、尙ほ同氏の今回の視察によつて現行制度改革の根本方針を決定の上、この方針の上に立脚して治外法權問題を携へ出來得れば年末迄に赴日することとなる模樣である、この結果により司法部は建國以來たどつて來た所謂調査時代より飛躍時代へと、急角度に轉向するものと大いに期待されるに至つた

歳末大賣出し
けふから和洋雜貨商も加入
いよ〳〵本格的に

新京輸入組合主催の市中聯合大賣出しは一日から呉服、洋服店が賣出し中であつたがいよ〳〵十日から組合加入商店の大半を占める和洋雜貨商の賣出しが開始され、十日は金泰、現代號、平本洋行等軒を並べて一齊に早朝から客足を呼んでゐる、尙今日までの組合の五枚綴き福引景品券の發行數は三萬枚で、その中既に商店から客に發行された數は正確には判らぬが六千枚位の予想で、今後組合員中大半を占める和洋雜貨商の賣出し開始と共に二十日頃までには三萬枚全部が發行される見込みで、目下洋服、呉服商の賣揚げは六千四、五百圓位と觀られ、市中の賣出し景氣は、十日から本格的になつたと云ふべきである

〇〇〇〇隊來京

〇〇〇〇隊〇兵第〇〇隊〇〇〇名は鷲森中佐に引率され九日午前八時三十分着列車で奉天から來京同日午後零時五十分發列車で吉林へ向つた、久保中尉の率ゆる〇〇〇〇隊〇兵第〇〇隊〇〇名は九日午後六時五十五分着列車で敦山から來京滯在中、〇〇〇〇隊〇兵第〇〇隊長松井中佐は同日午後七時半奉天から來京

新京署が自動車の一齊取締り
違反十七件に達す

新京署保安係では九日午後七時から同八時まで市內一齊に自動車の取締をなした、違反者は十七件でこの內無免許三件、免許證以外の車を運轉してゐるもの二件、車体不完全二件、ヘッドライトの不完全十件であつた、同署では今後度々一齊取締を行ふと

吉林省公署が近く醜吏を一掃

（吉林八日發國通）吉林省の官公吏中には舊軍閥時代の迷夢今尙醒めず、官權を笠に良民を脅迫したり、賄賂をむさぼる者なきにしもあらざる風聞あり省公署に於てはそれ等醜吏を一掃して綱紀の肅正を斷行するが王道善政を普及徹底せしむる第一要諦となし、警務廳にて極秘裡に密評ある醜吏の素行調査の歩を進めて居る模樣であるが若し風評を裏書する如き行爲ある醜吏は容赦なく檢擧の手を延ばす決意を有するものの如くである、尙一般民衆は調査檢擧に當りては公正なる日系官吏の活動を熱望して居る

一九三五年の危機の年
新京で鄕軍大會
早くも新京聯合分會で準備

一九三五年の世界的危機、日本の孤立が實質的に現はれる昭和十年の春、我新京に於て、日本帝國在鄕軍人會大會が盛大に開催されることとなつた、新京在鄕軍人會聯合分會では目下その準備を進めてゐるが數十萬の英靈が地下に冥れる滿洲の野に於て、この大會が開催されることは、國際的危機の認識と孤立日本の自主精神の高揚上頗る有意義のことと云ふべきである

佐藤、武田兩中將
今夜七時半來京
井上中將は明朝に

在滿の某要職につくことになつた佐藤、武田兩中將は今十日午後七時三十分來京、また滿洲獨立守備隊司令官井上中將は十一日午前七時來京三中將は打揃つて菱刈軍司令官、溥執政始め滿洲國要路を歴訪することになつてゐる

新京野球クラブの
暗流一掃せん
二監督制を廢止し
牧島マネージヤーも勇退

とかく幹部間に意志の疎通を缺くものあり、事毎に面白くない結果を招來して統制を缺くの嫌ひあつた新京野球倶樂部では現監督川上武治氏が別項の如く四平街地方事務所に『榮轉』することとなつたので、これを機會に幹部の刷新が行はれるもやうで川上氏の後任は置かず從來の二監督制を廢して石崎監督（新京驛貨物主任）一個として選手の統制に當ると共に現在同倶樂部のマネージャーであり常任委員として同倶樂部を背負つて立つ牧島氏（地方事務所住宅係主任）も近く時機を見て勇退することになりその後任には川越氏（滿電支店）が推されることになるらしく、本年中には『實現』されることになるであらう、これで幹部間の暗流も一掃され、內部關係はもちろん外部との交渉も圓滿に運ばれることになる模樣である

空のまもり
飛行隊の凱旋
悲しむべき見送人の少なさ

けさの新京こそまさしく凱旋市の觀があつた、吾等が空の護り關東軍飛行新京駐剳第〇〇隊、第〇〇〇隊及び電信第〇〇隊の將士〇〇〇名が凱旋の途に上つた日であつた、事變以來滿蒙の空を縱橫に馳け廻り空の威力を十二分に發揮した勇士でもこの日ばつかりは童顔にも似た面しておめでたう〳〵の連發に返禮に忙しい、驛では廣場から待合室ホームにかけて凱旋兵士の波、波、殘留戰友に後事を託する除隊兵、喜びの辭を投げる殘留戰友、互ひに握つたその手には無言の挨拶が交はされて別れを惜む勇士あり、定刻十時五十五分たゞ軍歌と萬歳の錯音であつた、たゞ殘念であつたのは吾等の勇士を送るのに余りにも少ない市民のすがたであつた

アメリカの
老金滿家から
橫濱の女給さんに三千萬圓

（東京九日發國通）サンフランシスコ、ミッション街一〇三九ウヰリヤム・タイス氏（七一）より橫濱中區富士山ホテルの女給黑田みよ子さん（十七）に、こちらへ來て世話をして呉れゝば三千萬圓をやる又來られなければ、扶助料として三十萬圓を與へるとの申込み非常な評判となつて居る、タイス氏は今年四月橫濱に來てみよ子さんに親切にされたことを忘れかね、これまでも品物や金を贈つて居たが、寄る年波で三千萬圓の遺産相續者を捜し始め、みよ子さんを選んだ譯である、みよ子さんは丸ポチャの斷髮美人で煙草をくはへながら「度々金や手紙を呉れたが、アメリカに行くかどうかは未だ決めて居ない」と語つた

遺骨十五日に來京

第〇〇管下戰死者の遺骨、六十五体は十五日午後三時廿五分着列車で哈爾賓より到着當日は太子堂に於て在鄕軍人外戰友に護られて通夜、十六日午前九時三十分南行、內地に向つて悲しき凱旋をするが當日はこの戰沒勇士のため市民擧つて出迎へませう

故久保田上等兵
告別式執行

南嶺〇〇隊故久保田上等兵の告別式は十日午後二時から同隊營庭で盛大に行はれたが、新京時局後援會その他各方面から花環供花の寄贈があり參列者多數、盛儀であつた

歳末年始には
特に火災防止と衛生に留意
東部衛生組合の企て

朝日通り派出所が肝入りで生れた東部衛生組合では歳末から年始にかけて特に街の衛生と火災防止に留意し

▲自治の精神清潔　ごみはごみ箱にお互に自宅の前は毎朝掃除をしませう

▲火元に注意　石炭がらは水をかけて一定の場所にごみ箱には入れぬ樣

の衛生と、火災防止のビラを各戶に配布衛生と火災豫防の徹底を期すこととなつた

吉林鄕軍分會
今年で廿年

在鄕軍人吉林分會は同會創設以來二十周年を迎へたので、十四日午後一時から、同地居留民會樓上に於て二十周年祝賀會を開催、十七日は同地小學校に於て、會員の武道大會を催をする

平本洋行の店員
惡事

市內日本橋通三十二番地平本洋行こと深田小太郎氏方店員楊林春（二二）は一日午後一時ごろ得意先から集金し現金六百十一圓を橫領行方をくらました、目下新京署で犯人捜査中である

榮轉
何れも新京の功勞者
富岡、川上兩氏

新京地方事務所勸業係商工主任富岡正太郎氏は地方部商工課勤務に榮轉、その後任は地方部商工課吉村高氏と決定、また新京地方事務所水道係勤務川上武治氏は四平街地方事務所商工主任に榮轉したが富岡氏は新京在任八ケ年に及び溫厚篤實また敏腕の譽れ高かつた人、また川上氏は新京野球倶樂部の現監督として野球界のために多大の貢獻をした功勞者であり兩氏の轉任は一般から惜しまれてゐる

街の日記

コロムビアの新譜到着

コロムビア、レコード新譜次々に發表、我新京にも大阪音頭を初め數々新譜到着し各々賣出中であるが斷然評判のよいものを二三種紹介して置く、流行唄關種子吹込「微笑む春」や同じく赤坂小梅吹込「おぱこ可愛や」及國民歌「非常時日本の歌」等で市內東一條通り小關樂器店初め特約店に於て數日前より販賣してゐる

カフエー春
華々しく開業

永樂町一丁目に本日華々しく開業したカフエー春は主人公內藤君に高田氏兄妹（元富士の經營者）に當時富士で活躍したきみ子、眞澄、うらら、道子、若葉、桂子、君子と言つた連中が共同出資株主と成つて新開地を獨占し樣と言ふ意氣込で開業した店仲々準備もよく他店と毛色を變へてゐるる艶麗を誇る御連中が我家の業績を配當を高めんと明るきサービスを標傍するカフエー春に株主たらんとする者裝飾用に額なりと持參上すべきを周知して置く

辨菊の
二十五錢辨當

朝日通と八島通の角筋向ひに今度辨菊と言ふ出前專門の辨當屋が出來た新和公司の經營一部であるが前記の通り出前專門で店舗では接客せず美味……上品……の幕の內辨當を二十五錢均一廉價で御通知次第遠近に不拘迅速に配達する筈である、銀行會社家庭用共に便利の辨當で既に評判よく電話は四九三〇番（ヨクミレ）である

落しもの

▲東五條通五番地工藤ちかさんは九日午後一時二十分ごろ金泰洋行前で赤黑皮製財布一個現金二十七圓を落した

▲入船町三丁目三十五番地エスエムリヤリチン氏は七日自宅前で實印丸形一個を落した

▲永樂町一丁目三番地扇芳亭藝妓靜香こと酒井シズヱさんは革製財布一個在中ダイヤの指輪一個時價二百六十圓現金四圓を九日午後五時ごろ自宅から黑猫理髪店に行く間に落した

盜難屆

▲蓬萊町四丁目憲兵隊官舎二十七號金子スエトさんは九日午後零時ごろ新京郵便局切手賣場で二ッ折皮製財布在中現金五十九圓を窃取された

▲日本橋通四十二番地飲食店安兵衛は九日午前九時ごろ隣家火災の際手提金庫から現金四十五圓を窃取された

▲入舟町三丁目十四番地福井勉氏は去る十一月九日より同十二月五日午前十一時の間に何者か侵入し四疊半の間にあつた柳行李から衣類七點時價百五十圓を窃取されてゐるを九日發見屆出た

ラヂオ欄

十一日（月曜日）新京

午後五時〇分　子供の時間（奉天より）　名作物語（第一回）ベニスの商人　小田敏夫
同　五時三〇分　ニュース（英語）
同　五時四〇分　ニュース（露語）
同　五時五〇分　ニュース（鮮語）
同　六時一〇分　ニュース（東京より）
同　六時二〇分　語學講座（滿語）講師　高宮盛逸
同　六時四〇分　語學講座（日語）講師　植松金枝
同　七時〇分　演藝（滿語）
同　七時三〇分　講演（滿語）蘇聯之現狀與滿蘇關係　軍政部宣傳部長王之祐
同　八時〇分　ニュース
同　八時三〇分　時報　氣象豫報番組豫告（滿語）
同　八時三一分　ニュース（東京より）氣象豫報
同　九時〇分　演藝　箏曲　一、殿所の月　川崎雅榮　二、千鳥　本手　和田花子　替手　川崎雅常
引續明日のプログラム豫告

天氣と氣温

十一日の天氣は南西の風晴、十日の氣温最高零下〇度六、最低零下十七度四

慶安異聞 艶魔地獄
（禁上演映畫化）玉水三郎　（畫）長谷川小信

（百十六）

愈よ報復（三）

加爪賀甚十郎は、大久保彦左衛門の言つた通りを、青山主膳に告げた。

主膳はもう物狂はしきまでになつてゐる。

「可しッ、吾々旗本の肝煎りと言はれる大久保彦左衛門が、此青山主膳を裏切るなら、最早當方にも考へがある……加賀爪、御苦勞であつた」

甚十郎も主膳の此頭が、餘りに常識を逸してゐるので萬一を慮つて、

「青山、何事も能く考へての上にさつしやれ。近來貴公のなす所は甚だ穏かでないぞ。大久保老人が吾々の敵となつても、まだ／＼他になす術はあるからな」

「もう可い、それ以上聞くに及ばぬ。此身は此身だけの事をするのみだ」

何か決心したらしく、こめかみに青筋を出して、興奮してゐるので、甚十郎は之れ以上言はなかつた。

そして青山方から辭去すると、直ぐ其足で松平紀太郎を訪ねて、主膳の身に就ての協議をなした。

「何とかして青山が、無謀な事をせぬやうにしたい」

「何をするか知れぬ。事に依つたら町奉行所へ暴ばれ込むか。でなくば唐犬方へ斬り込みはすまいか」

「小島三平には深見重左衛門と、久米の平内が附添つてゐる。迂闊な事をする時は、主膳の一命が危からう」

「それのみでなく、千五百石の名家が斷絶するやも計られぬ」

「何としても友人の情として、捨て置けんではないか」

「然らば一應水野十郎左衛門に謀つて、何とか手段を講ずる事にしやうか」

「オヽ其事だ。白柄組の力を以てしたら、青山主膳を救ひ、家の大事に至らぬ方法もあらう」

兩士は更に打連れ立つて、四ッ谷大番町の水野方を訪れた。

其間に青山主膳は用人井倉源太左衛門に命じて、諫めも異見も肯かばこそ、生國不詳の無頼浪人十人を雇つて、其夜唐犬方斬り込みを策した。

斯かる事のあらんかと、唐犬方では常に手を廻して、主膳方の一擧一動に着目してゐた。

それと知つた權兵衛方では、直に白山の久米の平内を招き、深見重左衛門が主となつて密議を凝らした。

結局平内の意見は、

「先方から斬り込みと定まつた以上、それを手を束ねて待つといふは愚である。一歩進んで當方から斬り込んで、一泡吹かせるに限る」

重左衛門も異議なく、權兵衛も亦、

「望む所でげす。就ては後日先生方へ、御迷惑が懸つては大變でげす。俺が兒分十人連れて斬り込みやすから、何うか默つて見てゐて下せえやし」

此説には兩士とも應と言はなかつた。

「元々吾々が主となつてやつた事件だ。唐犬一人に罪を被せる事があらうか」

とは平内の言分、重左衛門の主張も同じく、

「千五百石の旗本を對手に、之を膺懲する爲めの斬り込みだ。斯かる事に關さはる事は、吾々浪人の身の譽である」

遂に議は決した。其夜未だ宵の口に唐犬が先鋒となり、兒分は連れず、助太刀としては平内と重左衛門の二人切りで青山方へ進發した。

鳥越町の名主庄左衛門を呼んで唐犬兒分總代出ッ尻清兵衛が、後日の相談をした。

月曜 辛亥 先負 閉 張宿　舊十月廿四日 十二月十一日

●一白の人 腕次第にて美事に發達を遂げ得べし病注意 辰と申と辛が吉
●二黒の人 緊張を欠けば意外の點より破綻を生ずべし 甲と庚と壬が吉
●三碧の人 一事に心を集中し努力すれば大吉となる日 申と壬と癸が吉
●四緑の人 薄運にして不幸の日を過ごすべし病厄警戒 辰と子と癸が吉
●五黄の人 勇氣に任せ力を計る事を忘るれば凶害あり 甲と丁と亥が吉
●六白の人 事業の手を擴げて力餘りを生ずるに至る日 乙と申と丑が吉
●七赤の人 苦勞の枝葉を拂ひ落しても根の殘るが如し 丁と辛と寅が吉
●八白の人 半吉半凶の日柄にて無理せざれば咎はなし 辛と亥と丑が吉
●九紫の人 上運なれど他より脅迫せらる親交大切の日 辰と丁と戌が吉